

# いずみのひろば

2018年5月号  
日本基督教団堺教会  
No. 474 教会学校

## イエスさまはたしかに復活された

ルカによる福音書24章36〜43

イエスさまは十字架につけられて死んでしまわれましたが、3日目に復活されました。そのあとのことです。お弟子さんたちは、ひとつの家にあつまっていました。「ペトロさんは復活したイエスさまを見たらしいぞ」「わたしたちもエマオにいくとちゅうで、イエスさまに会いました」とみんなそれぞれ話をしていました。でも「そんなことしんじられないよ」という人もいました。そのときです。みんなのまんなかに、イエスさまが現れました。そして「あなたがたに平和があるように」と言われました。お弟子さんたちはびっくりして、ガタガタふるえました。だって、イエスさまのゆうれいが出たと思っただけです。イエスさまは言われました「どうしてそんなにおどろいているのか、どうしてゆうれいではないかなどと思っっているのか。わたしの手や足を見なさい。まちがいがなくわたしたち。さわってよく見なさい。ゆうれいには、きんにくも、ほねもないがわたしにはそれがある。」

お弟子さんたちは、イエスさまが復活されたということがだんだんわかってきました。けれどもどのようにして復活されたのか、ふしぎにおもっていました。そうすると、イエスさまは「ここに、なにかたべものがあるか」と言われました。お弟子さんたちは焼いたさかなをさしだしました。イエスさまはそのさかなをパクツと口に入れ、モグモグとたべました。ゆうれいは、

さかななんかたべません。お弟子さんたちは、どのようにしてイエスさまがよみがえったのかわかりませんでした。手も足もあつて、さかなをモグモグたべるイエスさまを見て、イエスさまが復活されたことがよくわかりました。

イエスさまが弟子たちのまえに現れ、手や足をお見せになり、さかなをたべられたのは、「イエスさまは、たしかに復活された」ということを弟子たちがほかのひとびとにのべたためでした。お弟子さんたちは、このあつまつて教会ができました。そして教会は、せかいじゅうに、二千年いじょうものながいあいだ、イエスさまのことをのべたえつづけています。お弟子さんたちがのべたえたことは、今日このようにして、わたしたちにものべたえられました。そして、もうひとつたいせつなことは、イエスさまを信じて、イエスさまにつながっていれば、わたしたちもたとえ死んでも復活することができるといふことです。復活のトップバッターはイエスさまです。そのあとにわたしたちがつづいていくのです。今日のみことばは、そのことをわたしたちにおしえてくださっています。

(おはなし ゆたに かずしげ先生)

